

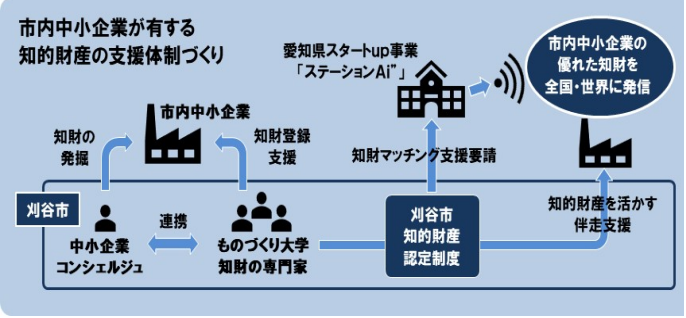


報告回	#2政治センター幹事会 (1月度)	#3政治センター幹事会 (5月度)	#4政治センター幹事会 (8月度)
-----	----------------------	----------------------	----------------------

<b>刈谷市</b>	所属議員	伊藤幸弘、黒川智明、鈴木浩二、中嶋祥元、佐原充恭、深谷英貴
------------	------	-------------------------------

産業目線

目線区分	産業目線	
取り組み項目	③人材確保	
テーマ	外国人労働者の雇用支援	
前回まで 取り組み状況	・中小企業コンシェルジュによる、企業の課題提起や解決提案などの取り組みを実施中。その継続性の重要性や各企業のレベルに則した提案等されているのか一般質問等で確認	
今回 組織内議員の 具体的取り組み	※令和元年12月定例会 一般質問 「中小企業支援について」を質疑 ① 中小企業の「人材育成」と「人手不足」への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性活躍推進を積極的に取組む事業者を認定する「ハーモニーカンパニー制度」を19年度に創設。</li> <li>・優れた技術や製品を手掛けている市内中小企業を「輝くかりやカンパニー」として19年度から産業まつりで紹介。</li> <li>・若年者の就職ミスマッチ対策として、生徒や親が直接、事業所と意見交換ができるよう校舎内での合同企業説明会を開催。</li> <li>・「人手不足」解消のための外国人人材受入れや育成方法、また、円滑な事業承継への具体的支援等は現在検討中。</li> </ul> ② 中小企業の知的財産活用支援への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業が持つ優れた技術・ノウハウを活かす戦略として「刈谷市知的財産認定制度」の創設を提案。</li> <li>・県のスタートUP事業の中核拠点「ステーションAi」整備（2年後）に合わせ、刈谷市が県に認定した製品等をPRする仕組み構築を提案。</li> </ul>	【図や活動の様子が分かる写真など】   
今後の取り組み	① 外国人労働者雇用については、企業へのヒアリングを実施中。また、愛知県と刈谷市に対して、今後の進め方など勉強会等を計画 ② 新たな認定制度への取り組みを提案した。引き続き実現の可否についてフォローアップしていく	

報告回	# 2政治センター幹事会 (1月度)	# 3政治センター幹事会 (5月度)	# 4政治センター幹事会 (8月度)
-----	-----------------------	-----------------------	-----------------------

<b>刈谷市</b>	所属議員	伊藤幸弘、黒川智明、鈴木浩二、中嶋祥元、佐原充恭、深谷英貴
------------	------	-------------------------------

組合員目線

目線区分	組合員目線	
取り組み項目	⑤子育て・教育	
テーマ	待機児童対策と祝日保育等の拡充	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">前回まで</div> 取り組み状況	一般質問等で ① 第二次子ども子育て支援計画策定に際して、待機ゼロを目指す実現性をしっかり示すことを依頼 ② 北部地区の祝日保育園の少なさを課題提起	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">今回</div> 組織内議員の 具体的取り組み	※令和元年9月定例会 一般質問 ① 0-2歳専用乳児園化(4園)への移行と幼稚園の幼児園化(こども園化8園)の運用開始における課題提起と対応状況の確認。送迎用駐車場の整備などの早期対応の依頼。兄弟別な園となるリスクの軽減と保護者への十分な説明を実施する事を強く要望 公立幼稚園全園の幼児園への移行、乳児園の拡大、民間保育園整備により保育ニーズを検証しながら、支援計画に織り込む。また必要に応じ中間改定をする ② 北部に祝日保育園は一園増設する方向で検討中  ※令和元年12月定例会 一般質問 ① 子ども子育て支援計画について、パブリックコメントを実施している。 内容は、2025年度に待機ゼロを示しているが、ぎりぎりの状況と認識している乳児園と幼児園の運用を拡大検討し、待機児童対策を早期化すべきではと提案。また、それぞれの園の魅力向上を図ることで、預ける側の魅力と選択肢を増やすべきであると提案	【図や活動の様子が分かる写真など】  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         ※保育園 → 一部を乳児園(0-2歳)化                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         ※幼稚園 → 幼児園(こども園)化                     </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">                         3園! 新規保育園  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                             4園 乳児園(0-2歳専用園)                         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                             13園 保育園                         </div> </div> <div style="text-align: center;">                         16園 幼児園  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                             預かり時間等 7:30~8:40                              今までの幼稚園の保育時間                              保育時間終了 ~16:30                              16:30~18:30                         </div> </div> </div>
今後の取り組み	・子ども子育て支援計画を基本に、園児数の増減、ニーズの確認など実施しながらフォローしていく	